

なるほど 健康講座

佐伯地区医師会
河村小児科

かわむらりえこ
河村 理英子先生

問い合わせ 健康福祉総務課 ☎201610

5歳児健診が始まりました

廿日市市では、4月から5歳児を対象とした健康診査（相談）が始まりました。5歳児は翌年には小学校に入学し、子どもの生活環境は大きく変わることになります。学習が始まり、規則が増えて我慢しなければならない場面が多くなります。また、周囲の友達と協調する力や言語コミュニケーション力もより必要になります。一方で、学ぶことの楽しさや友達と協力し、何かを成し遂げる達成感など、多くの素晴らしい経験が待っています。



学校生活に向けて必要な3つの発達

学校生活を始めるための準備状態として、3つの発達が整う必要があります。

- ①手先の器用さやバランス感覚、体の複数の部分を連動させて動かす協調運動などの**身体・運動の発育**
- ②注意力や記憶力、問題解決能力、言語能力などの**認知能力**
- ③他者の感情や気持ちを考えられる**社会性の発達**

これらの発達が整っていないことに気づかないまま入学すると、子どもは学校生活で困難を感じ、適応できず登校を嫌がってしまうことがあります。このため、この発達が整っていない子どものことを「発達障害」と総称し、平成17年に発達障害者支援法ができました。

発達障害とは？

コミュニケーションの困難・こだわり・感覚過敏のある自閉スペクトラム障害、注意力の困難・行動を制御する困難のある注意欠陥多動性障害（ADHD）、読み書きや計算などの学習に困難のある学習障害、協調運動に困難のある発達性協調運動障害などの総称

5歳児健診の目的

5歳児健診の主な目的は、子どもの特性に早期に気づき、適切な支援を行うこととされています。入学前に気づくことで、学校生活で感じる困難を理解し、合理的な配慮が可能になります。例えば、その子どもにあった学習の工夫や教室環境の改善、困難を感じていることへの適切な支援などがあります。また、5歳児健診は発達の問題ばかりでなく、学習に重要な視覚や聴覚の問題、体格（身長や体重）、生活習慣、入学に向けた心配事や困り事なども確認します。

より良い学校生活をスタートするため

5歳児健診は障害を診断するものではなく、子どもが学校生活で感じる困難に事前に気づくためのものです。全ての子どもにより良い学校生活のスタートのため、ぜひ5歳児健診を受けてもらいたいと願っています。

